平成２７年９月

伊東市議会９月定例会

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

伊 東 市 議 会

決　算　大　綱　質　疑　順　序

１　正風改革クラブ　　佐々木　　清　　君

浜　　田　　修一郎　　君

（８月２７日（木）１０時～１３時５０分）

２　民主党・刷新の会　　鈴　　木　　克　　政　　君

（８月２７日（木）１４時～１５時）

３　輝　　２　　１　　稲　　葉　　富士憲　　君

（８月２８日（金）１０時～１１時）

４　公　　明　　党　　楠　　田　　一　　男　　君

（８月２８日（金）１１時１０分～１２時１０分）

５　　森　　篤　　君

（８月２８日（金）１３時１０分～１３時３５分）

６　　重　　岡　　秀　　子　　君

（８月２８日（金）１３時３５分～１４時）

※質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

決　算　大　綱　質　疑　要　旨

正風改革クラブ　　佐々木　　清

平成２６年度伊東市一般会計決算を踏まえ、以下伺う。

１　新保健福祉施設の整備に着手したとあるが進捗状況について伺う。

２　財政調整基金積立金の状況と積み立てに係る考え方について伺う。

３　市税について、予算現額を０．９％上回る決算となり、対前年比でも１．４％増加しているとのことだが、その要因を伺う。

　あわせて、未来協知の観点から、市民と協働した収納率のさらなる増加へ向けた取り組みについて伺う。

４　循環型社会形成へ向けた取り組みについて、ごみの減量・再資源化の推進に係る取り組みとその成果及び新車庫建設用地造成工事請負費に係る進捗状況と今後の展望を伺う。

５　農業振興に関し、担い手育成型市民農園の運営支援について、その成果及び検証等について伺う。

6　伊東市地産地消推進協議会に係る事業において「食」の魅力を市内外に発信したとあるが、その成果及び検証について伺う。

7　つくり育てる漁業の振興を図ったとあるが、その成果及び検証について伺う。

8　年間を通じた戦略的な観光宣伝により効果的に本市の魅力を発信する「オールシーズンプロモーション事業」に関し、その成果及び検証について伺う。

9　歳入における幼稚園保育料が減額した要因は園児数の減少であると思われるが、今後の園児数の推移等に係る考え及び今後の展望を伺う。

10　市立養護老人ホームに係る管理運営事業に関連し、老朽化に伴う居住環境の悪化が懸念されるが、どのような対応をされたか伺う。

　また、今後、どのような対応を考えているか伺う。

決　算　大　綱　質　疑　要　旨

正風改革クラブ　　浜　田　修一郎

平成２６年度特別会計及び企業会計歳入歳出決算を踏まえ、以下伺う。

１　下水道事業特別会計に関し、下水道の普及状況について伺う。

２　競輪事業特別会計に関し、平成２６年度に累積赤字８，８６９万６，７９５円を解消し、一般会計への繰出金１，２００万円を計上しているが、その要因をどのように分析しているか伺う。

３　国民健康保険事業特別会計に関し、以下３点伺う。

⑴　保険給付費が対前年度比で３．５％減少している要因について

⑵　特定健康診査等事業費の不用額について

⑶　短期被保険者証及び資格証明書の交付状況について

４　霊園事業特別会計に関し、以下２点伺う。

⑴　平成２６年度に建設の芝生墓所１４４区画の募集状況について

⑵　２７万５，３７０円の収入未済額が発生した原因について

５　介護保険事業特別会計に関し、以下２点伺う。

⑴　一般会計繰入金１０億６０８万２，０００円について、増加の要因と今後の見通しについて伺う。

⑵　施設介護サービス受給者数が７１７人とのことであるが、どのような施設整備を行ってきたか伺う。

６　伊東市水道事業会計に関し、当年度純損失が１，３９９万９，８９０円発生しているが、その原因を伺う。

また、平成２６年度決算を踏まえ、今後の経営の見通しについて伺う。

決　算　大　綱　質　疑　要　旨

民主党・刷新の会　　鈴　木　克　政

１　平成２６年度執行の新規事業のうち、次の事業に関し、Ｐ・Ｄ・Ｃ・Ａマネジメントサイクルにおける「Ｄ：実行」、「Ｃ：点検・評価」、「Ａ：改善」の各プロセスについて、それぞれどのように評価しているか伺う。

⑴　市民活動支援事業

⑵　磯あそび体験事業

⑶　市内道路除草事業

２　鳥獣害防止対策に関し、以下伺う。

⑴　鳥獣害対策に係る事業の内容及びその成果について

⑵　鳥獣被害の現状について

⑶　把握する鳥獣の頭数及びその傾向について

⑷　今後の対策について

３　かがやくまちづくり事業に関し、以下伺う。

⑴　１０行政区及び１４分譲地への補助について、事業のハード・ソフトの内訳や事業の傾向、代表的な事業などについて

⑵　５市民活動団体への補助における事業内容について

決　算　大　綱　質　疑　要　旨

輝２１　　稲　葉　富士憲

１　一般会計決算に関し、以下伺う。

⑴　市税収入が対前年度比１．４％の増加となったが、その要因をどのように分析しているか。

⑵　公債費が対前年度比２．８％の減少となったが、今後、どのように推移すると予測しているか。

⑶　老人憩の家城ヶ崎荘について、どのような改修を行ったか。

　また、改修により利用できなかった期間について、利用希望者にどのように対応したか。

⑷　ひとり親家庭就学費用助成事業の対象者は何人か。また、対象者全員に助成できたか。

⑸　観光産業について、宿泊者数は対前年で増加したものの、来誘客全体では前年を下回るなど、観光を基幹産業とする本市にとっては、依然として厳しい状況が続いているとあるが、この要因をどのように分析しているか。また、本市の観光産業の状況をどのように分析しているのか。

⑹　農業振興について、担い手育成型市民農園の運営を支援し、担い手対策を図ったとあるが、何人の育成を行い、実際に農業に携わるようになった人は何人いるか。

⑺　商工業について、起業家または商店街の空き店舗を利用して開業する事業者に対し助成を行い、市内における開業の促進を図ったとあるが、どの程度の応募があったか。

また、これによりどのような成果があったか。

2　下水道事業特別会計決算に関し、以下伺う。

⑴　繰入金の増加要因について、どのように分析しているか。

⑵　繰入金の今後の見通しについて、どのように予測しているか。

決　算　大　綱　質　疑　要　旨

公明党　　楠　田　一　男

1　平成２６年度決算概要説明書を踏まえ、以下５点伺う。

⑴　「やさしさと笑顔にあふれる健康なまち」に係る事業から、障害者福祉・高齢者福祉・児童福祉の展望について伺う。

⑵　「安全・安心で快適なまち」に係る事業から、災害対策として地域における防災力の向上や市民一人一人の防災意識の高揚に努めたとあるが、このところの異常気象や火山活動による全国的な被害を目の当たりにすると、これまで以上に官民の共同作業が必要不可欠と感じるが、所見はいかがか。

⑶　「心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち」に係る事業から、図書館の年間貸出冊数は前年度比４％増とあるが、蔵書や貸出書籍におけるほこり、汚れ、目に見えない菌などの付着はどのように除去しているか。また、今後の対策を伺う。

⑷　「場の力が創造する魅力・活力のあるまち」に係る事業から、水産業関係における「内陸のフロンティアを拓く取組」の展望について伺う。

⑸　「まちづくりを進めるために」の事業から、伊豆半島７市６町首長会議において「美しい伊豆創造センター」の設立に向けた協議を実施したとあるが、当該センターに係る今後の展望と期待される効果について伺う。

2　本市監査委員による伊東市各会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書の「むすび」では、「決算状況を見ると、景気回復の兆しと考えられる税収の増加がみられるが、まだまだ楽観視できるような状況ではなく、今後の消費税率の引き上げ等の影響で再び景気の後退も憂慮される」と指摘しているが、平成２６年度決算の結果は平成２８年度予算にどのように反映されるのかを伺う。

決　算　大　綱　質　疑　要　旨

森　　篤

平成２６年度当初予算について、平成２６年３月定例会において、市長が所信を表明した事項に関して、以下３点伺います。

１　「未来協知の実践」に関して、本市ホームページに、「未来協知とは、本市の将来像である『ずっと住みたい　また来たい　健康保養都市　いとう』を目指し、市民幸福度向上のため、市民のみなさんと行政が協働し知恵を出し合い、未来を見据えたまちづくりを進めていく」とありますが、「市民のみなさんと行政が協働し知恵を出し合う」という部分について、具体的には、どのような事項について、どのような成果、効果があったのか伺います。

２　「市民幸福度の向上」に関して、具体的には、どのような事項について、幸福度の向上があったのか伺います。

また、総体として市民幸福度は向上したと考えているのか伺います。

３　「スポーツツーリズムの推進」に関して、「平成２６年度決算概要説明書」及び「平成２６年度市政報告書」には、「スポーツツーリズム」という言葉の記載がありませんが、具体的には、どのような事項について、どのような成果、効果があったのか伺います。

決　算　大　綱　質　疑　要　旨

重　岡　秀　子

１　平成２６年度病院事業会計について

⑴　新病院開院から２年目となる平成２６年度において、開院当初より大幅に改善されているものの、５，８５９万円余の純損失を計上しているが、病院事業における収支の実態について伺う。

⑵　回復期リハビリテーション病棟の実績と病院経営に及ぼす影響について伺う。

⑶　平成２７年２月に新設された救急科について、その実績と今後の課題について伺う。

２　平成２６年度国民健康保険事業特別会計について

⑴　保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金が前年よりやや減少しているが、その要因について伺う。

⑵　保険税収入の減少などによる財源不足を補うため、法定外の一般会計繰入金や保険給付等支払準備基金繰入金を繰り入れているが、繰り入れに係る基本的な考え方について伺う。